

1 研究主題

人と自然とのかかわりを通し

子どもが「生きる力」を発揮する学習活動の創造

2 主題設定の理由

<子どもの実態>

- ① ほとんどの子どもは、友達とのかかわりを持つことに難しさを感じながらも、自分から声をかけるなどしてつながりを持つことができる。しかし、子どもたちの日常生活の人間関係は固定化しており、同じクラスにいてもあまり話をしない友達がいるというのが現実である。
また、友達の見方に偏見があり、一度、自分とのトラブルがあった子は、長期間、嫌ってしまうといった実態もある。
- ② 学校生活においては、休み時間はいつも体を動かす遊びをしている子どもと、そうでない子どもの差が大きいように思う。家に帰ってからの遊びがゲーム中心になっている場合は、体だけでなく、健康面も危惧される。また、体育の時間は競技中心ではないものの、体育の苦手な子どもは気持ちがのらず、笑顔が見えないように思う。
- ③ マスコミを賑わす殺人事件の低年齢化という社会全体の問題も、見逃せない。いのちの大切さを意図的に教育していく必要を感じる。
- ④ 自然とのかかわりも不足している。ビオトープが完成した今、その機会を意図的に作って、自然との対話を増やし、発見する喜びや生命そのものに感動する体験をさせたい。

人や自然とかわることを通し、自分に自信を持って生きていける子どもにしたい。

*勉強も粘り強くできるまでやり、友達も作れる。自然に感動できる。

他との比較ではなく、自分自身のよさに自信を持って生活できる。

3 めざす子ども像

各ブロックごと、話し合って決めてください。

(1)

(2)

(3)

4 研究の視点

日々、何を念頭に置き、子どもを見つめるか（仮説と同じ）

- (1)人とかかわれる力を養う
- (2) 力を (体育面)
- (3) (自然を) 見る力を養う
- (4)言葉の力をつける

5 研究の領域

- (1)いのち・環境教育 (全教科、道徳、総合)
- (2)体育

つまり 授業は

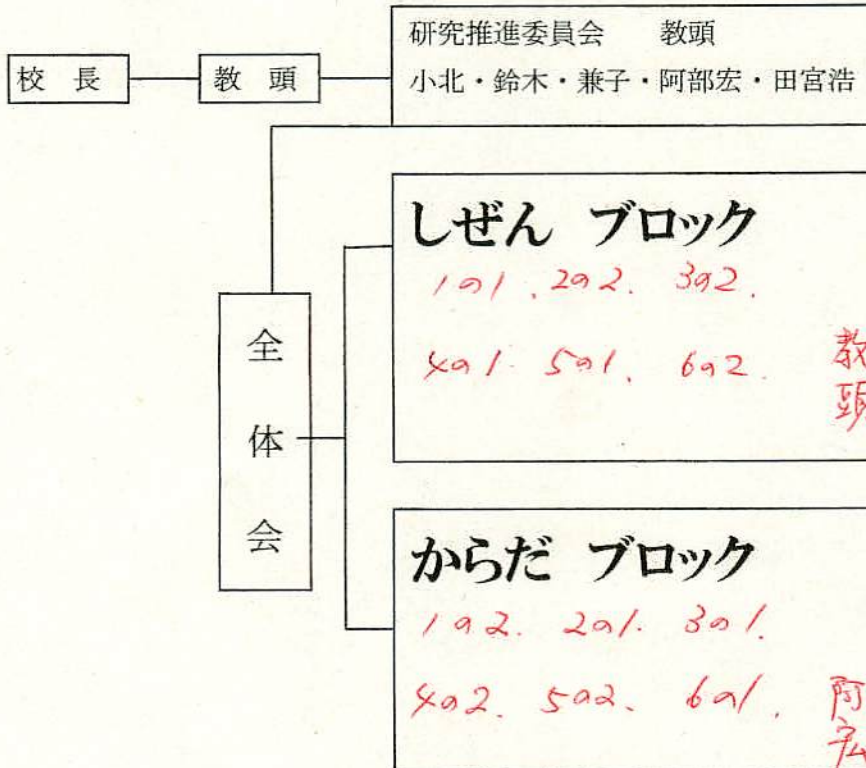
環境か体育を 実施

例：各学年 1組が環境なら
2組は体育

6 研究の内容

- (1)いのち・環境教育.....教材開発
- (2)体育.....体育の授業
〈スポーツ・運動〉

7 研究の組織



＜研究会＞ 予定

学 年 ①	6月 9日 (金)	学 年 ⑥	9月 14日 (木)
学 年 ②	6月 14日 (水)	学 年 ⑦	9月 22日 (金)
③④ 全 体 研 究 会 <i>低 中</i>	6月 20日 (火) 21日 (水)	学 年 ⑧	10月 4 日 (水) <i>11</i>
学 年 ⑤	7月 14日 (金)	学 年 ⑨	10月 25日 (水)
* 7 / 5 (水) に市教訪問があるので、 7月は1回にした。		⑩⑪ 全 体 研 究 会 <i>高 中</i>	11月 22日 (水)
		学 年 ⑫	11月 30日 (木)

* 「ひろの学級」「みなみ学級」は親学級において、T・Tの授業をしていただいてはどうか。

* ブロックごとの日程の変更はかまいません。お互いに相談してください。

* ブロック以外で参観した方は、感想を授業者へ伝えてください。(用紙は準備します)

今後の見通し

- (1) ブロック毎、めざす子ども像と研究の視点を話し合う。
- (2) 全体研 それぞれの考えを出し合う。指導案の形式を提案。
- (3) 授業研に向かう